



南月寒小学校スクールゾーン側

札幌市立南月寒小学校
スクールゾーン実行委員会
令和8年7月24日

7月2日(木)、令和8年度第1回スクールゾーン実行委員会を開催しました。学校の代表者のほか、スクールガード、区役所、警察、町内会、PTA など、約30名の関係者に参加いただき、児童の安全について意見・情報交流を行いました。話し合いの中で話題になった箇所につきまして掲載いたしましたので、ご確認ください。

【～繰り返し何度も声掛けを!!～】

道路への飛び出しやふとした行動や気のゆるみが交通事故につながることも多くあります。ご家庭でも交通ルールやマナーについて話し合い、出かける際の声掛けを毎日しましょう。「自身の命は自分自身で守る」という子どもたちの意識と実践力の育成を図る意味でも、丁寧に繰り返し声を掛けることが大切です。

さくらんぼ公園付近は、道幅もせまい。見通しが悪いところにはカーブミラーもあるが見えづらい。

下り坂も多く、転がったボールを追いかけていく場面も見かける。左右をしっかりと見て安全に行動してほしい。

高校に通学する生徒がスピードを出して自転車で通り抜ける車も抜け道になっていて危険。

白石藻岩通のセブンイレブンから入っていく細い道。塀が歩道側へ傾いている部分があり、注意して通行する必要がある。歩道が狭く、児童は車道を歩いていることが多い。ゴルフ場へ行く方の抜け道になっていて、車通りも多くある。

サンドラッグの駐車場が狭く、歩道を塞いで駐車していることもある。車道を通らなければならない状況で大変危険。

交通量が多い。交差点付近の店への出入り、右左折する車など、大変危険。

川に沿ってフェンスがあるが、一部が途切れていて川に降りられるようになっていて危険。

水源地通り(信号のないところ)については、横断歩道を使わない大人が多い。大人も横断歩道を渡るようにしていき、地域で交通ルールを守っていきたい。

水源地通りから羊丘通り(佐藤水産横)への抜け道。交通量が多く、大変危険。

休み中など、お時間のあるときに、是非、お子さんと一緒に通学路を歩いてみて、子どもの目線で周りの様子や交通状況を見直し、何が危険なのかを考えていただけたら幸いです。気付いたことがありましたら、学校へ連絡をください。

第2回スクールゾーン実行委員会は12月を予定しています。